



柳沢中学校だより

朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和5年7月19日 第4号

自分の夏休みをクリエイトする



7月4日の朝礼で、みなさんは、この夏をどのように過ごすか、「2度とない中学●年生の夏、今しかできないことをする。」「いろいろなことにチャレンジしてみる。」「夏休みに入るまでの数日間で考えてほしい」と問題提起しました。いよいよ明後日から、夏季休業に入ります。どのような42日間になるのかは、自分次第です。

7月の取組目標は、創造（クリエイティブな自分）を意識してみてください。さて、どうやって創造力を身に付けるのか。それには、広い視野をもつことが大事です。急激に変化していく社会を生き抜いていくのに必要な力です。

視点を変えてみる。自分のものの見方や考え方をずらしてみる。視点を変えることができると、今まで気が付かなかったことが見えたりします。ずっと同じ視点でいると、何か困ったことが起きた時に解決する方法が分からず、「つまらない、嫌だ」の世界から抜け出せないままです。ペップトークのとらえ方変換を活用してみるとよさそうです。

広い視野をもてずにいると、無意識の内に自分の考え方が正しいと思うようになってしまい、他の価値観や新しい情報を受け入れられなくなってしまいます。

こうして自分の価値観にとらわれてしまっていると、自分にとってせつかくのチャンス！と呼べるようないい機会が飛び込んできても、それを掴むことができずに今の状態が続くことになります。

世の中はどんどん変わりつづけているのに、自分は今までの考え方にこだわって身動きがとれず、焦りや不安で苦しさを感じてしまうのです…

広い視野をもてないと、自分自身が今までみてきた物の捉え方しかできなくなってしまいます。そうになると、相手の考え方や価値観を理解することが難しくなってしまいます。

あの考え方は絶対に間違っていると決めつけ、相手の考え方を受け入れることができないため、人との関係で衝突が起きてしまうことがあるのです。

今までの考え方にとらわれてしまっていることで、別の視点でみることができなくなってしまい、どうしたらいいか分からなくなって解決するのに時間がかかってしまうようになるのです。

私は、自分で幸せな人生をつくっていくものだと考えています。そして、みんなが居心地がいい社会、柳沢中学校であってほしいと願っています。そうすれば、一人一人が自分らしく、生き生きと楽しく生活していけるのではないのでしょうか。



「朝のリレー」

谷川俊太郎

カムチャッカの若者が

きりんの夢を見ているとき

メキシコの娘は

朝もやの中でバスを待っている

ニューヨークの少女が

ほほえみながら寝がえりをうつとき

ローマの少年は

柱頭を染める朝陽にワインクする

この地球で

いつもどこかで朝がはじまっている

ぼくらは朝をリレーするのだ

経度から経度へと

そうしていわば交換で地球を守る

眠る前のひととき耳をすますと

どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる

それはあなたの送った朝を

誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ



花いっぱい花壇プロジェクト

保谷第二小学校では、5年生の児童さんが育てた「ひまわり」の苗を地域に贈呈する取組を行っています。先日、児童さんたちが「ひまわり」の苗をもって来校し、本校の花壇プロジェクトの3年生が受け取り、お礼を述べました。

柳沢中は、昨年度から「花いっぱい花壇プロジェクト」に取り組んでいます。ボランティアを募集し22名が参加しています。先月は、地域の方にご協力いただきながら、種団子とひまわりの種を植えました。

だいふ芽が出てきて、楽しみです。



あいさつ運動

今年度立ち上げた「ボランティア推進委員会」。澤野先生をチーフとし、阪田先生、沼田先生、長谷川先生がメンバーとなり生徒に募集をかけ、地域貢献力、人のために貢献する中学生の育成を目指して活動しています。

「社会を明るくする運動」に学級委員や生徒会、生活委員のほかに応募してきてくれた挨拶ボランティアも参加しました。

地域の小・中学生が元気にあいさつし、地域を盛り上げていく。

柳沢中の生徒の元気な声が明るく響く柳沢地区にしていきたいと思います。



働く人の話を聞く会

コロナ禍で2年生の職場体験が実施できなくなってしまったことで、地域の方々が中学生のために開いてくださって今年で3回目となった「働く人の話を聞く会」。働くことの意義、望ましい勤労観の育成を目指す中、自分と向き合い、自分を知り、自分のいいところをたくさんみつけ、自分を自分の手で生かし自分らしく生きていけるように、10年後の自分をイメージしながら取り組んでいきたいと思います。



つながる

防災・減災講演会

1年生を対象に開催された「講演会」。今年度来年度、保谷第二小学校と共に東京都安全教育推進校」となっており、9月16日「防災教育の日」に向けてさまざまな取組を計画しています。先日は、講師の先生を招いて発災後72時間（3日間）をシミュレーションしながら、防災巻紙の作成に取り組みました。また、東日本大震災の語り部としてご活躍されている元釜石小学校校長先生から、当時の様子や防災・減災教育における中学生に期待することをお話いただきました。2030年までにM9.2級クラスの大地震が起こる確率は70%と言われています。自助、共助そして公助について多くを学び、たくさんの体験を積み、万が一のときの対応力をつけていきたいです。



水曜サブリ(英検チャレンジ放課後学習教室)

グローバル人材の育成を目指す取組の一環として、「水曜サブリ」を始めました。月一回の職員会議の裏で地域の方が英語検定合格を目指してご指導くださり、武蔵野大学の学生さんも手伝いにきてくださっています。開催回数こそ少ないですが、自学の力をつけるためにも少しずつ努力を積んでいただきたいと思います。

